

Professional Body Water Analysis



# InBody BWA 2.0S



# Design & Composition



## Measurement posture

立位測定が困難な患者のため、ベッドサイド測定に特化しています。



仰臥位(左)・立位(中央)・座位(右)

仰臥位の他に立位・座位の測定を支援します。姿勢変更に伴う水分移動を安定させるため、該当の姿勢で十分な安静を取ってから測定します。

## Peripheral equipment

使用時の利便性を高める様々なアクセサリを提供します。



### USBメモリー

測定データをソフトに移したり、CSVファイルでエクスポートすることができます。



### バッテリーパック

院外など電源がない場所でも、長時間InBodyを使用することができます。



### サーマルプリンター

簡易的に印刷ができる熱転写式プリンターで、トナーやインクが必要ありません。

## Feature

半永久的に使用できる装着式電極は、使用方法も簡単です。



### 臨床現場に最適化された移動用カート

電極とケーブルをすっきり整理できるように、収納場所があります。また、キャスターが付いているので、自由に施設内を移動することができます。

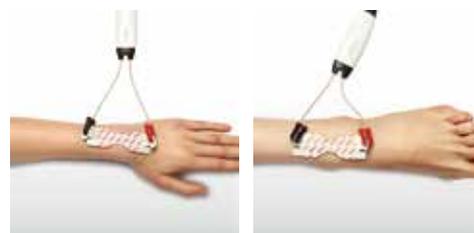
### 装着式電極

電極を手首の頭骨とくるぶしの中心に合わせて取り付けることで、簡単に測定することができます。



### 付着式電極 (オプション)

必要に応じて付着式電極ケーブルと専用の使い捨て電極を使用する仕様に変更することができます。\*1



\*1 InBodyを導入してから付着式電極(ケーブル)を追加購入される場合、エンジニアによる作業(有料)が必要です。

# InBody Technology



## 統計補正を使用しないBIA技術

BIA法における統計補正とは、インピーダンス・身長・体重の実測値だけでなく、特定人種や集団で表れる体成分の傾向を、体成分を算出する公式に予め組み込むことです。統計補正が入ると、測定時に入力する年齢・性別・人種などの情報によっても体成分が変わるため、BIAが不正確と言われてきた原因として指摘されてきました。しかし、InBodyは統計補正を一切使用しておらず、同じ人ならどの国でもどの性別・年齢を入力して測定しても、ありのままの同じ体成分が算出されます。



## 更に進化した独自の測定技術

5～3000kHzの多周波数を用いて長さや断面積の異なる右腕・左腕・体幹・右脚・左脚を分けて直接測定するDSM-BIA(Direct Segmental Multi-frequency Bioelectrical Impedance Analysis)技術。BIA法と言っても全て同じではありません。また、SMFIM(Simultaneous Multi-frequency Impedance Measurement)技術は、複数周波数のインピーダンスを同時に測定でき、更に多くの情報を計測しながらも所要時間を短縮しました。



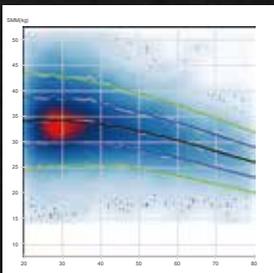
## 客観的に数多く検証されている精度

体成分測定のGold Standardとして、DXA(全身・部位別の筋肉量・体脂肪量)・水中体重法(除脂肪量・体脂肪量)・重水希釈法(体水分量)・臭化ナトリウム希釈法(細胞外水分量)などがあります。このような方法とInBodyは、様々な人種の健康者・疾患患者・アスリート・高齢者・小児などを対象に第三者によって検証され、その結果が40件以上の国際論文として発表されています。また、各論文を通じては、被験者に関係なく一貫して高い精度が確認できます。



## 世界各地から論文として共有される活用事例

InBodyは様々な条件で長年にかけて精度が検証されてきた結果、今は医療診断・臨床研究・治験などの様々な分野で活用されています。また、高い信頼性を背景に得られた成果は、世界中のジャーナルに公表されています。学術誌や学会誌で正式発表された活用事例は、常に学術専門チームがモニタリングしており、InBodyの更なる活用に向けてのレファランスとして情報提供されます。



## Big Data 基盤の年齢別統計分析

世界で蓄積した1,300万件のInBody Big Dataに基づき、各項目を標準値と比較するだけでなく、主要項目の年齢別分布もわかります。分布図では平均と標準偏差のグラフを提供しており、若年齢の平均値に対する相対的な位置(T-score)と、同年齢帯の平均値に対する相対的な位置(Z-Score)も分析できます。InBodyだからこそ収集できるBig Dataを利用した結果用紙は、研究や測定結果の相談時に有効活用できます。



## ● InBodyに臨床公式の公開が必要ない理由

体成分を算出する臨床公式に統計補正を使用すると、公式を作った集団と体成分の傾向性が異なる症例では、その補正が誤差として働きます。そのため、従来のBIA法を用いた研究では、信頼性の限界を明確に示す方法として、臨床公式を公開することが常識でした。しかし、InBodyはその必要がなく、統計補正を排除した公式の開発過程も開発者 (Dr. Cha, Harvard Medical School) の論文で公開されており、臨床活用を報告した多くの論文でレファランスとなっています。<sup>1,2</sup>

## ● InBodyが時間をかけて体を測定する理由

新陳代謝で常に動いている体水分を安定的に測定するため、InBodyは5つの部位を6周波数の交流電流で繰り返し測定し、合計30個のインピーダンスを計測します。細かく計測されるインピーダンスは統計補正を使用しない技術の基となります。また、全てのインピーダンス情報は結果用紙にグラフ化されてエラーコードと一緒に提供されるので、測定結果の信頼性を測定直後は勿論、後からでも確認することができます。



測定技術の紹介はYouTubeで見ることができます

## ● InBodyが精度98%など特定数値を強調しない理由

技術開発の段階で特定集団でとても高い精度が確認されたからと言って、それが全ての症例に対して適用されるわけではありません。精度は測定条件によって変わり、特に統計補正が入る場合、試験群によって補正值が誤差になることもあります。InBodyは会社主導の精度検証の結果よりも、第三者によって客観的に試験が行われ、更に厳しい審査を通過して論文として発表された結果を、本当の精度として提示します。



原理・精度に関する資料はこちら

## ● InBodyが圧倒的な数の研究報告を誇る理由

専門家向けの体成分分析にInBodyが採択される理由は、技術的な優位性だけではありません。当社はBIA技術開発を先導する企業として、何より研究者の方々に対する研究支援を優先として考えます。また、InBodyを用いた小さな研究報告も見逃さずにレファランスとして管理し、学会・勉強会・共同研究など様々な形で最新の情報を発信します。ホームページの専用窓口からは、全てのご質問・ご依頼に迅速に対応します。



活用事例に関する資料はこちら

## ● InBodyの標準値がグローバル共通である理由

欧米人は日本人より体格が大きいです、それは平均身長が高いため、同じ身長同士なら両者における理想的な体重や体成分に変わりはありません。InBodyの標準範囲は、特定の国や人種における平均値でなく、体成分学の観点から標準体重で持つべき各成分の理想的な割合のため、国と人種に関係なく同身長・同性別では同じ標準範囲が提示されます。※カスタマイズ装置を除く

1. Kichul Cha, Glenn M. Chertow, Jorge Gonzalez, J. Michael Lazarus, and Douglas W. Wilmore. Multifrequency bioelectrical impedance estimates the distribution of body water. Journal of Applied Physiology 1995; 79(4), 1316-1319

2. Kichul Cha, Sunyoung Shin, Cheongmin Shon, Seunghoon Choi and Douglas W. Wilmore. Evaluation of segmental bioelectrical impedance analysis for measuring muscle distribution. J ICHPER SD-ASIA 1997; 11-14

ID	身長	年齢	性別	測定日時
Jane Doe	156.9cm	51	女性	2024.05.04. 09:46

## 1 体成分分析 Body Composition Analysis

	測定値	体水分量	筋肉量	除脂肪量	体重
体水分量 Total Body Water (L)	27.5 (26.3 ~ 32.1)	27.5	35.1 (33.8 ~ 41.7)	37.3 (35.8 ~ 43.7)	59.1 (43.9 ~ 59.5)
タンパク質量 Protein (kg)	7.2 (7.0 ~ 8.6)				
ミネラル量 Minerals (kg)	2.63 (2.44 ~ 2.98)	骨外ミネラル量			
体脂肪量 Body Fat Mass (kg)	21.8 (10.3 ~ 16.5)				

## 2 筋肉-脂肪 Soft Lean-Fat Analysis

	低	標準	高
体重 Weight (kg)	55 70 85 100 115 130 145 160 175 190 205 %	59.1	
筋肉量 Soft Lean Mass (kg)	70 80 90 100 110 120 130 140 150 160 170 %	35.1	
体脂肪量 Body Fat Mass (kg)	40 60 80 100 160 220 280 340 400 460 520 %	21.8	

## 3 肥満指標 Obesity Index Analysis

	低	標準	高
BMI Body Mass Index (kg/m <sup>2</sup> )	10.0 15.0 18.5 21.0 25.0 30.0 35.0 40.0 45.0 50.0 55.0	24.0	
体脂肪率 Percent Body Fat (%)	8.0 13.0 18.0 23.0 28.0 33.0 38.0 43.0 48.0 53.0 58.0	36.9	

## 4 部位別筋肉量 Segmental Lean Analysis

	低	標準	高	ECW/TBW
右腕 Right Arm (kg)	40 60 80 100 120 140 160 180 200 %	2.02		0.380
(%)		102.2		
左腕 Left Arm (kg)	40 60 80 100 120 140 160 180 200 %	1.94		0.381
(%)		98.1		
体幹 Trunk (kg)	70 80 90 100 110 120 130 140 150 %	17.7		0.398
(%)		95.4		
右脚 Right Leg (kg)	70 80 90 100 110 120 130 140 150 %	5.20		0.401
(%)		83.6		
左脚 Left Leg (kg)	70 80 90 100 110 120 130 140 150 %	5.02		0.403
(%)		80.6		

## 5 体水分均衡 ECW/TBW Analysis

	低	標準	やや高	高
細胞外水分比 ECW/TBW	0.320 0.340 0.360 0.380 0.390 0.400 0.410 0.420 0.430 0.440 0.450	0.397		

## 6 体成分履歴 Body Composition History

体重 Weight (kg)	65.3	63.9	62.4	61.8	62.3	60.9	60.5	59.1
筋肉量 Soft Lean Mass (kg)	35.6	35.5	35.2	35.2	35.3	35.2	35.3	35.1
体脂肪率 Percent Body Fat (%)	41.3	40.7	39.2	39.0	39.4	38.6	37.8	36.9
細胞外水分比 ECW/TBW	0.399	0.398	0.396	0.396	0.397	0.396	0.398	0.397
☑最近 ☐全体	23.10.10 09:15	23.10.30 09:40	23.11.02 09:35	23.12.15 11:01	24.01.12 08:33	24.02.10 15:50	24.03.15 08:35	24.05.04 09:46

## 7 体重調節 Weight Control

適正体重	51.7 kg
体重調節	- 7.4 kg
脂肪調節	- 9.9 kg
筋肉調節	+ 2.5 kg

## 筋肉均衡 Lean Balance

上半身均衡	<input checked="" type="checkbox"/> 均衡 <input type="checkbox"/> やや不均衡 <input type="checkbox"/> 不均衡
下半身均衡	<input type="checkbox"/> 均衡 <input checked="" type="checkbox"/> やや不均衡 <input type="checkbox"/> 不均衡
上下均衡	<input type="checkbox"/> 均衡 <input checked="" type="checkbox"/> やや不均衡 <input type="checkbox"/> 不均衡

## 8 部位別体脂肪量 Segmental Fat Analysis

右腕 (1.5kg)	178.0%
左腕 (1.6kg)	183.0%
体幹 (11.7kg)	240.0%
右脚 (2.9kg)	132.0%
左脚 (2.9kg)	132.0%

## 9 部位別水分量 Segmental Body Water Analysis

右腕	1.58 L (1.18 ~ 1.78)
左腕	1.52 L (1.18 ~ 1.78)
体幹	13.4 L (12.1 ~ 14.8)
右脚	4.21 L (4.21 ~ 5.15)
左脚	4.08 L (4.21 ~ 5.15)

## 10 研究項目 Research Parameters

細胞内水分量	16.6 L (16.3 ~ 19.9)
細胞外水分量	10.9 L (10.0 ~ 12.2)
骨格筋量	19.6 kg (19.5 ~ 23.9)
基礎代謝量	1176 kcal
腹囲	91 cm
骨ミネラル量	2.18 kg (2.01 ~ 2.45)
体細胞量	23.8 kg (23.4 ~ 28.6)
除脂肪指数(FFMI)	15.2 kg/m <sup>2</sup>
体脂肪指数(FMI)	8.9 kg/m <sup>2</sup>
骨格筋率(SMM/WT)	33.2 %

## 11 筋肉・筋力評価 Muscle-Strength Evaluation

骨格筋指数(SMI)	5.8 kg/m <sup>2</sup> (≥ 5.7)
握力(HGS)	18.9 kg (≥ 18.0)

## 12 QRコード QR Code



スマートフォンで  
測定結果の確認

## 13 全身位相角 Whole Body Phase Angle

φ(°) 50 kHz	4.3°
[000/000/000]	[装着式、仰臥位]

# Result Sheet

## 1 体成分分析

体を化学的観点から4つ(体水分・タンパク質・ミネラル・体脂肪)の成分に分けて現状を表示します。この表を見ることで、体内成分の均衡が一目で分かります。非健常者は栄養欠乏・浮腫などの症状が体成分の不均衡となって表れます。

## 2 筋肉・脂肪

筋肉量と体脂肪量が体重に対して適切であるかを棒グラフで表示します。身長と性別から求める標準体重を基に筋肉量・体脂肪量の標準値を定めており、グラフの形から体型を視覚化できます。



## 3 肥満指標

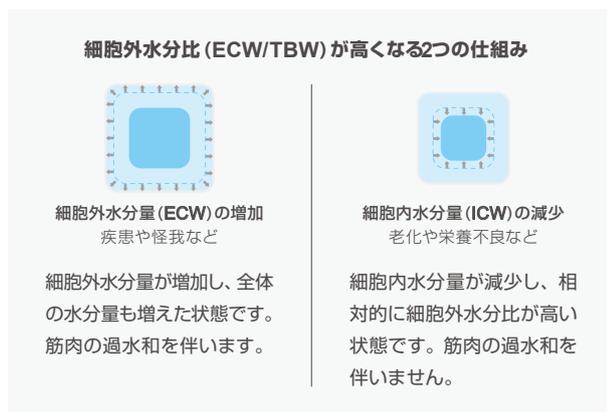
身長と体重で計算したBMIだけでは、体重が標準でも体脂肪率の高い隠れ肥満を正しく評価することができません。InBodyはBMIと体脂肪率を提供するため、総合的な肥満評価ができます。

## 4 部位別筋肉量

筋肉量を四肢と体幹の部位別に測定し、標準体重と現在体重で持つべき筋肉量を基準に筋肉の発達具合をグラフで提供します。グラフからは各筋肉の発達程度と共に身体の上・下・左・右が均衡に発達しているかも評価できます。

## 5 体水分均衡

細胞外水分比(ECW/TBW)は体水分量に対する細胞外水分量の割合であり、体の水分均衡を表します。健康な体は一定の水分均衡を維持しますが、疾患や栄養不良等で均衡が崩れて高くなります。



## 6 体成分履歴

測定ID毎に直近データを8件まで表示します。体重・筋肉量・体脂肪率・細胞外水分比が確認できます。

## 7 体重調節

体成分を考慮した適正体重と調節すべき筋肉量や体脂肪量を表示します。この数値を目標にすることで健康的で体成分の均衡が取れた体重管理が可能になります。

## 8 部位別体脂肪量

部位別の体脂肪量を分析する項目です。グラフの長さは標準体重に対する体脂肪量の多さを表します。

## 9 部位別水分量

水分量を四肢と体幹の部位別に測定し、標準体重を基準に各水分量が適切かどうかを提供します。体水分は筋肉の構成成分になるため、部位別筋肉量に比例します。

## 10 研究項目

栄養評価・生活習慣指導・研究などでよく活用される項目です。装置の環境設定から別項目を選択・表示することもできます。

## 11 筋肉・筋力評価

サルコペニアの診断に活用される項目で、四肢骨格筋量(kg)を身長(m)の二乗で除して計算したSMIと、握力を表示します。握力はInGrip(オプション)を連動することで、実測値の印字ができます。アジア人における診断基準は次の通りです<sup>1</sup>。

$$\text{骨格筋指数 (SMI)} = \text{四肢骨格筋量 (kg)} \div \text{身長 (m)}^2$$

男性 < 7.0 kg/m<sup>2</sup>、女性 < 5.7 kg/m<sup>2</sup>

筋力 (握力)

男性 < 28 kg、女性 < 18 kg

## 12 QRコード<sup>2</sup>

無料のInBodyアプリを使用して二次元コードを読み取ると、スマートフォンで測定結果を確認することができます。

## 13 位相角

50kHzの交流電流が細胞膜を通過する際に計測される抵抗(リアクタンス)を角度で表した項目で、体細胞量や細胞膜の構造的完成度に比例します。そのため、生命予後や重症度の指標として広く活用されています。

# Result Sheet



## 体水分結果用紙

細胞内・外水分量や水分均衡を見やすく表示し、体水分を中心に体の状態を評価する結果用紙です。

### 1 部位別体水分均衡

体水分均衡を四肢と体幹の部位別に測定・評価し、グラフに可視化することで各部位の水分均衡を把握できます。

### 2 体水分履歴

直近8件までの体水分結果を折れ線グラフで表示します。体重・体水分量・細胞内水分量・細胞外水分量・細胞外水分比の推移を一目で確認でき、経時的な変化のモニタリングに役立ちます。



## 小児用結果用紙

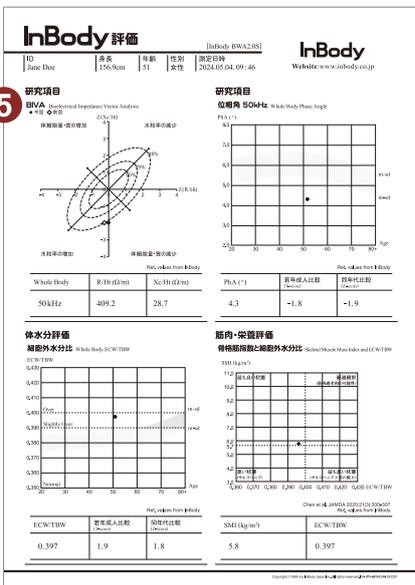
成長曲線は18歳未満に対して、小児用結果用紙を選択した場合に限って印刷されます。

### 3 体成分分析

体を化学的観点から4つ（体水分・タンパク質・ミネラル・体脂肪）の成分に分けて現状を表示します。また、各成分の役割も簡単に説明しています。

### 4 成長曲線

小児標準成長曲線は身長と体重を同年齢の小児と比較することで、成長程度が確認できるグラフです。

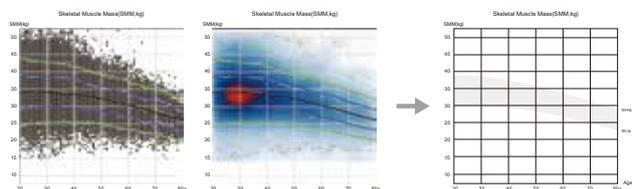


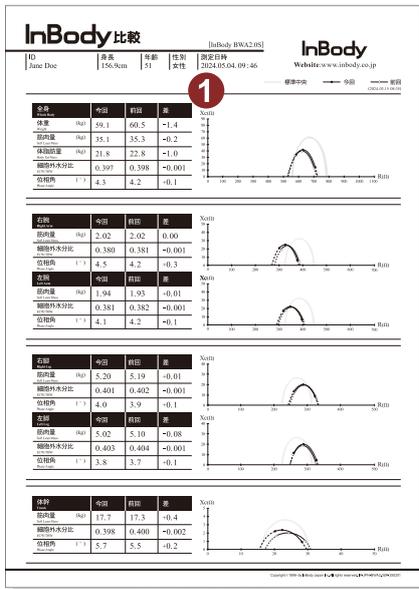
## 評価結果用紙

細胞外水分比・体脂肪率・骨格筋指数・BMIの4項目に対し、同じ年齢層・性別の結果と見比べて相対的な位置が評価できる結果用紙です。

### 5 年齢別分布グラフ

InBodyで測定された1,300万件に上るBig Dataを基に、年齢別・性別の分布グラフを提供します。主要な測定結果を標準範囲だけでなく、年齢別の情報とも比較することで、より現状を考慮した説明ができます。



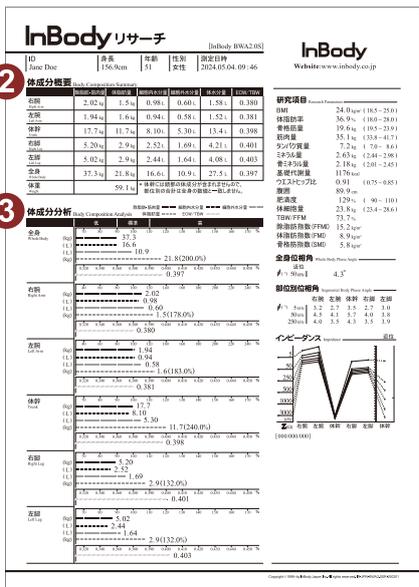


## 比較結果用紙

体成分の変化を確認する際によく使用される項目を全身と部位別、今回と前回で分かりやすく比較できる結果用紙です。

### 1 Cole-Cole plot

右側の点から5・50・250kHzの電流で計測されるレジスタンス (R) と、リアクタンス (Xc) を平面上で表したグラフです。レジスタンスは電流が体水分を流れる際に、リアクタンスは周波数を持つ交流電流が細胞膜を通過する際に計測される抵抗です。零点と半円状の点を直線で連結した場合、その長さがインピーダンス (Z) であり、横軸に対する直線の角度が位相角です。体細胞量が多く細胞膜の完成度も高いとより綺麗な半円が描かれ、筋肉量や水分量が増えるとグラフは左に移動します。



## リサーチ結果用紙

体成分に関する全ての測定結果が一目で確認できるように、一枚にまとめた研究者向けの結果用紙です。

### 2 体成分概要

全身と部位別に提供される全ての項目を1つの表で確認できます。筋肉は主に体水分とタンパク質で構成され、体水分は更に細胞内水分・細胞外水分に分けられます。この表では各部位の筋肉量・体脂肪量に加え、筋肉量の主な構成成分に関する情報が一緒に把握できます。

### 3 体成分分析

全身と部位別に提供される全ての項目を棒グラフで示し、標準範囲に対する過不足が確認できます。

## サーマル結果用紙

付属のサーマルプリンターとInBodyを接続することで、選択した項目のみを感熱紙に印字することができます。

### 4 基本項目

体成分の評価に最も広く使用される項目の測定結果を、標準範囲と一緒に確認できます。

### 5 部位別筋肉量&部位別体水分均衡

水分は筋肉の主な構成成分で、筋肉量は水分均衡が崩れても変動します。そのため、患者の筋肉量を評価する際は水分均衡と一緒に見る必要があります。



# Intelligent Analysis Option

本体と連動して使用することで、更に利便性を向上できます。



## プリンターセット

測定結果を印刷するためにレーザープリンターと専用結果用紙1000枚が付属したセットです。



## 付着式電極

専用の付着式電極ケーブルと使い捨て電極を使用することで、装着式電極が固定できない患者様を測定することができます。



## LookinBody

パソコン経由で測定データが確認できます。型番の120\*1はインストール型、Webはクラウド型サービスです。\*2

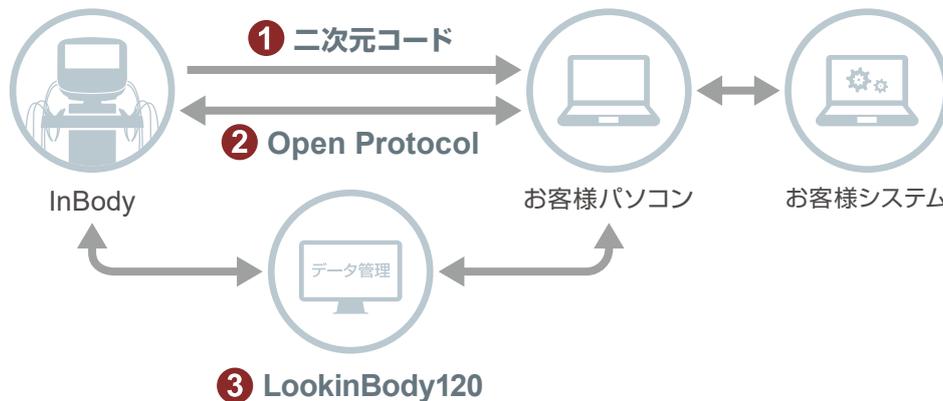


## 握力計InGrip

握力計InGripと連携することで、握力値をInBodyにBluetoothで転送することができ、結果用紙にも印字することができます。

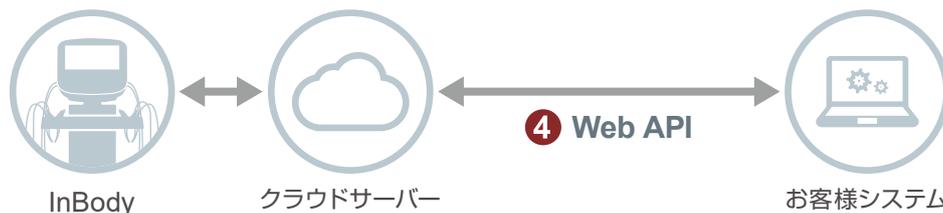
システムの仕様に応じ、様々な方法で他社システムに連動できます。

InBodyと直接のデータ連動



- 1 InBody測定が終わってLCD画面、または印刷結果用紙に表示される二次元コードを読み取って測定者情報や測定データを取得します。結果用紙に二次元コードを印字するには、本体の管理者画面で設定の変更が必要です。
- 2 InBodyと直接通信するプロトコルを提供し、システムにデータを連動する方法です。
- 3 専用データ管理ソフトLookinBody120(Windows用)は、InBody測定が完了すると同時に特定フォルダにCSVや結果用紙イメージを保存できます。保存されたファイルを読み込むソフトを開発し、システムにデータを連動する方法です。LookinBody120は医療用プロトコルHL7を支援します。\*1\*3

InBody Cloud Server経由のデータ連動



- 4 サーバー間のWeb APIを用いてInBodyのデータを連動する方法で、クラウド型データ管理サービスLookinBody Webの契約が必要です。\*2

# InBody BWA2.0S Specifications

## 主要仕様

生体電気インピーダンス (BIA)測定項目	6種類の周波数(5kHz、50kHz、250kHz、500kHz、1000kHz、3000kHz)で、5つの部位別(右腕、左腕、体幹、右脚、左脚)にインピーダンス(Z)を測定 3種類の周波数(5kHz、50kHz、250kHz)で、5つの部位別(右腕、左腕、体幹、右脚、左脚)にリアクタンス(Xc)を測定 3種類の周波数(5kHz、50kHz、250kHz)で、5つの部位別(右腕、左腕、体幹、右脚、左脚)に位相角( $\theta$ )を測定
電極方式	8点接触式電極法/付着式電極法
測定方法	部位別直接多周波数測定法(Direct Segmental Multi-frequency Bioelectrical Impedance Analysis Method、DSM-BIA方式) 同時多周波数インピーダンス測定法(Simultaneous Multi-frequency Impedance Measurement、SMFIM方式)
結果項目	[全身・部位別] 体水分量、細胞内水分量、細胞外水分量、細胞外水分比(ECW/TBW)、筋肉量、体脂肪量 [全身] 体重(入力値)、BMI、体脂肪率、除脂肪量、タンパク質量、ミネラル量、骨ミネラル量、骨格筋量、体細胞量、基礎代謝量、水和率(TBW/FFM)、除脂肪指数(FFMI)、体脂肪指数(FMI)、骨格筋指数(SMI)、適正体重、筋肉調節、脂肪調節、体重調節、目標細胞外水分比、水分調節量、目標体重 [部位別] 周囲長(首、胸部、腹部、臀部、右腕、左腕、右太もも、左太もも) [その他] 体成分履歴(直近8回測定結果)、インピーダンスグラフ(部位別・周波数別)、0kHzインピーダンス(Z0)、 $\infty$ kHzインピーダンス(Z $\infty$ )
体成分算出	統計補正(人種、性別、年齢、体型)の排除

## 機能仕様

ロゴ表示	結果用紙に施設名、住所、連絡先の記載が可能
結果確認	LCD画面、結果用紙、データ管理ソフト(LookinBody120)、クラウド型データ管理サービス(LookinBody Web)
結果用紙の種類	体成分結果用紙(専用/内蔵)、体水分結果用紙(内蔵)、小児用結果用紙(内蔵)、評価結果用紙(内蔵)、比較結果用紙(内蔵)、リサーチ結果用紙(内蔵)、サーマル結果用紙
測定音	測定時の進行状況、環境設定保存、個人情報入力を知らせる案内音及び測定時の音声ガイドの設定可能
移動・携帯性	移動用カートで室内移動、携帯用バッグで室外移動が可能
測定姿勢	仰臥位、立位、座位
臨床ノート設定	持病、血液透析、リンパ浮腫、麻痺部位、切断部位の設定可能
測定画面	カラーLCDで測定過程と測定結果を表示
管理者メニュー	測定環境に合わせてInBody BWA2.0Sの機器設定及び測定データの確認
結果保存	ID入力時に測定結果保存(測定合計100,000回まで保存可能)
データコピー	USBメモリーに保存可能(Excel、LookinBodyで確認可能) ※株式会社インボディ・ジャパンが推奨するUSBメモリー
データバックアップ	USBメモリーで機器に保存されたデータのバックアップと復元
プリンター接続	USBポート
二次元コード	LCD画面と結果用紙の選択項目から提供される二次元コードを読み取ると、スマートフォンから測定結果の閲覧が可能
オプション	プリンターセット、プリンターデスク、データ管理ソフト(LookinBody120)、クラウド型データ管理サービス(LookinBody Web)、付着式電極、携帯用バッグ、手動身長計BSM170、握力計InGrip、バーコードリーダー

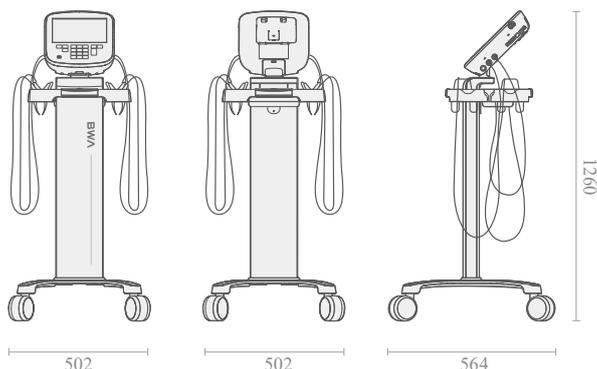
## その他仕様

使用電流	300±30uA
消費電力	70VA
アダプタ	[電源入力] 100-240V、0.75~1.5A、50/60Hz [電源出力] 12V、5.0A or [電源入力] 100-240V、0.5~1.0A、50/60Hz [電源出力] 12V、3.34A
バッテリーパック	[分類] リチウムイオン二次電池 [電源入力] DC12V、3.4A or 3.34A [電源出力] DC10.89V、5100mAh
表示画面	1280×800 10.1inch Color TFT LCD
入力インタフェース	タッチスクリーン、キーパッド
外部インタフェース	RS-232C×1、USB HOST×2、USB SLAVE×1、LAN(10/100T)×1、Bluetooth×1、Wi-Fi×1
対応プリンター	株式会社インボディ・ジャパンが推奨するプリンター
装置寸法	[本体] W322×L282×H81.5mm [移動用カート装着時] W502×L564×H1260mm
装置重量	[本体] 2.8kg [移動用カート装着時] 15.8kg
測定時間	[メディカルモード] 30秒 [リサーチモード] 60秒
動作環境	[温度] 10~40℃ [湿度] 30~75%RH [気圧] 70~106kPa
運送及び保管環境	[温度] -10~70℃ [湿度] 10~80%RH [気圧] 50~106kPa(結露がないこと)
体重範囲	10~250kg
身長範囲	110~220cm
測定対象年齢	6歳以上

## 医療機器関連情報

販売名	ボディーコンポジションアナライザー InBody BWA2.0S
分類	クラスII、管理医療機器
医療機器認証番号	第306AFBZX00086000号
一般的名称	体成分分析装置(JMDNコード:36022020)
GTINコード	8809209592178(JANコード互換)
保険点数	体液量測定 細胞外液量測定 60点

\*性能改良のため仕様・デザインは予告なしで変更することがありますのでご了承ください。





# InBody

See what you're made of

外国製造業者(InBody Co., Ltd. Factory)が取得している認証



1639

ヨーロッパ



ISO9001



ISO13485



ISO27001



MDSAP

**InBody** 株式会社インボディ・ジャパン [www.inbody.co.jp](http://www.inbody.co.jp)

東京本社	〒136-0071 東京都江東区亀戸1-28-6 タニビル
	Tel 03-5875-5780 Fax 03-5875-5781
札幌営業所	Tel 011-776-7571 Fax 011-776-7572
仙台営業所	Tel 022-302-6301 Fax 022-302-6302
横浜営業所	Tel 045-325-8996 Fax 045-325-8997
名古屋営業所	Tel 052-684-9616 Fax 052-684-9617
大阪営業所	Tel 06-6155-6937 Fax 06-6155-6938
広島営業所	Tel 082-236-7630 Fax 082-236-7631
松山営業所	Tel 089-948-9073 Fax 089-948-9074
福岡営業所	Tel 092-292-1766 Fax 092-292-1776

InBody.LookinBodyは株式会社インボディ・ジャパンの登録商標です。



ご購入後のサポート体制に関する情報はこちら